

令和3年 2月 3日

千代田区立九段小学校

校 長 清水 明

図画工作科 大高 美和



緊急事態宣言にともない様々な活動に制約がありますが、子供の成長する姿が図工の様々な場面でみられています。

3年生は展覧会の延期にともない、立体作品を1点だけ持ち帰りました。5か月前に制作した作品と、つい最近制作した作品を見比べて、お気に入りの作品を展覧会用に保管します。前に制作した作品を満足げに眺めて選ぶ児童、最近の制作した作品を何度も眺めて「やっぱりこれだ。」と言っている児童など反応は様々ですが、両作品を比べて見ると材料の接着の丁寧さ、形や色の組み合わせの複雑さなどそれぞれの造形活動に成長が見られます。またこの5か月間の活動を通してみると「工夫したいこと」、「材料について」、「表したい感じ」など以前よりも言葉や文で丁寧に説明できるようになりました。

4年生は、この1年間で「できるようになったこと」を絵に表しています。「布団をたたむ」「お湯を沸かす」など、生活の中で自分の力でできることが増えているようです。自転車やカルタなど、新たな遊びや趣味も広がってきました。その様子を実際にポーズし、撮影し、関節の動きを確かめてスケッチします。絵の構成や観察の仕方を学ぶと同時に、互いの成長を認め合う時間にしていきたいと思います。

## 1【1月の図工】

### 3年生 「すてきな音楽が流れてきたら」

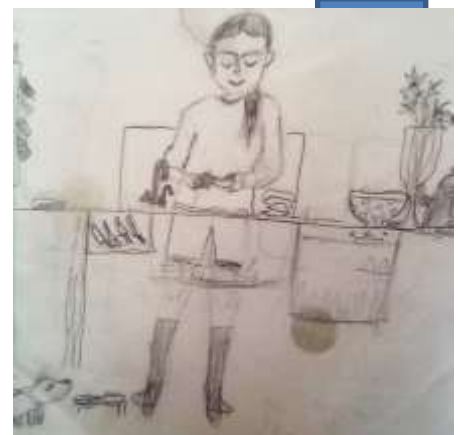
音楽を聴きながら、その感じをもとに模様を作り、布を染める活動をしました。

友達と一緒につなげて楽しかった。相談しながらできた。素敵な音楽でいやされた。など、様々な感想が聞かれました。



### 4年生 「生活を表そう」

1年間頑張ったこと、ちょっとできるようになったこと、続けているお手伝い、初めて取り組んだことなど、自分ができるようになったことをもとに、テーマを考えました。家で写真を撮ってくるなど、表したいものの様子の資料にして、表し方を考えています。

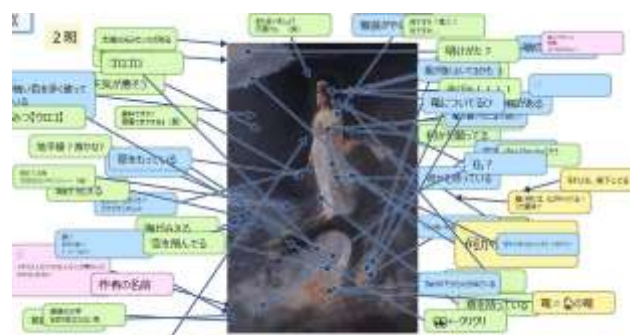


## 5年生「糸鋸ドライブ」

### 「なりきり！作品調査団」

糸鋸ドライブのために、ローラーで板を着色しました。

鑑賞では、班ごとに選んだ作品1点について、タブレット上で話し合い。スマート・スクールのファイルに調査結果をまとめました。自分たちで考えた作品調査結果を、次回国立近代美術館の学芸員さんの前で調査発表します。この学習は指導者の私にとっても、タブレットを活用した遠隔授業として大きな経験になりました。



## 6年生「水のある風景」「私の横顔」

水のある風景は、ガラスを入れて本焼きに入りました。徐々に焼きあがっており、児童は水のようにガラスが溶けた姿を楽しみにしています。

「私の横顔」では、卒業を前に保護者の方へのプレゼントとして横顔のシルエットを切り抜き、自分らしい装飾の額縁と合わせて作品にしました。真横から見た自分の顔は、自分ではめったに見ることができません。「自分の写真がはずかしい」という思いを乗り越えて制作しました。その反面シルエットに宿る自然の美しさや面白さに気付いている児童もいるようです。頬のふくらみや、寝ぐせ、パーカーのフードなど、小学生としての今の姿を留めています。



## 2【2月の題材予定】 敷物・教科書・筆記用具・エコバッグは常に持ってきます。

学年	題材	分野	特別な持ち物・備考
3年	リコーダーをふいたら 共同作品（染料使用）	平面	絵具セット・クレヨン エプロン又は汚れてよい服装で・手拭き用タオル
4年	生活をテーマに 共同作品・コマドリアニメ	平面	絵の具・クレヨン・宿題：お手伝いをする タブレット
5年	なりきり！作品調査団！ 共同作品・糸鋸ドライブ	鑑賞	（国立近代美術館との遠隔授業を目指して） 糸鋸ドライブは絵具セットが必要です。
6年	墨の歌 「うふう」の顔	平面 版画	習字道具 新聞紙 絵具セット

